

SUSTAINABILITY REPORT 2022



KINKAN GROUPは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

KINKAN GROUP 公式ホームページ
www.kin-kan.co.jp

本誌に載っていないサービス案内や採用情報などを掲載!
最新ニュースも随時更新しているのでぜひチェックしてください。



お客様アンケート

KINKANについてのご意見をお寄せください。



KINKAN GROUPについて

廃棄物の収集運搬、処理を手がける『近畿環境保全株式会社』を中心とし、県下最大級の処理能力をもつ中間処理工場の『株式会社湖南リサイクルセンター』、京都市事業系一般廃棄物許可を有する『有限会社ラゴ』、グループの雇用や福利厚生サービスなどを幅広く展開する『キンカンビジネスアソシエイツ株式会社』の4社体制で事業展開をしています。

会社概要

会社名 近畿環境保全株式会社
 代表者 代表取締役社長 西村忠浩
 資本金 1,600万円
 所在地 本社及び草津資源循環センター／滋賀県草津市青地町196番地
 グループ管理本部／滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B
 営業本部／滋賀県草津市大路2丁目13番27号 辻第3ビル5F
 石部営業所／滋賀県湖南市石部口2丁目277-1
 京都営業所／京都府京都市南区上鳥羽南鉾立町14-2
 リユース事業部／京都府京都市南区上鳥羽角田町55-3

沿革

1962年 前代表の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を開始
 1975年 近畿環境保全(株)を設立
 1981年 本店を現在の草津市青地町へ移転
 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得
 破碎機と焼却炉で事業を開始
 1998年 中間処理業の許可に品目を追加(廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却)
 2002年 石部町(現:湖南市)に近畿環境保全(株)石部リサイクルセンターを竣工
 2003年より本格的に事業開始
 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬会社を分社し、(有)ラゴを設立
 石部リサイクルセンターを別法人「(株)湖南リサイクルセンター」へ
 2008年 (株)きぶらとして廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を
 湖南リサイクルセンター内に竣工
 2009年 西村忠浩が近畿環境保全(株)の代表取締役社長に就任
 西村裕司が近畿環境保全(株)の代表取締役会長に就任
 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工
 2016年 近畿環境保全(株)が産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
 2017年 営業本部を(株)湖南リサイクルセンター内から草津市野村へ移設
 2018年 キンカンビジネスアソシエイツ(株)を設立
 2020年 (株)湖南リサイクルセンターが産業廃棄物処理業の優良認定を取得
 2021年 営業本部を草津市野村から草津市大路へ移転
 管理本部を草津市青地町から草津市野村へ移転
 2022年 創業60周年を迎える

【サステナビリティレポート お問い合わせ窓口】 近畿環境保全株式会社 管理部総務グループ Email: secretary@kin-kan.co.jp

CSR活動のあゆみ

2005年 ISO14001認証取得
 2006年 廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
 2007年 小学校における環境学習の開始
 びわ湖環境ビジネスメッセ参加開始
 2008年 社内環境ポイント制度開始
 カーボンオフセット開始(内モンゴルにて植林)※2017年度終了
 2009年 環境報告書の第一号を発行
 琵琶湖森林づくりパートナー協定締結
 エコキャップ推進運動開始・愛する地球のために約束する協定締結
 滋賀グリーン購入ネットワーク入会
 グリーン電力を利用 ※2012年度終了
 2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加
 循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始
 滋賀レイクスターズ スポンサー活動開始
 2011年 いしべ共働作業所 障がい者雇用開始
 2013年 コナン市民共同発電所へ出資
 2014年 当社の環境事業部洗車場の屋根に太陽光発電パネル設置
 2015年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長
 2016年 湖南リサイクルセンターの処理棟へのLED照明の導入
 2017年 滋賀ユナイテッドベースボールクラブスポンサー活動開始
 草津宿場まつり かごかきレースに参加
 2018年 (特非)国際ボランティア学生協会ivusa主催の外来水生植物の除去活動に参加
 ヨシ灯り展に参加
 プラスチック・スマート登録
 2019年 森林づくりパートナー交流イベント開催
 2020年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 2年間延長
 2021年 “しがCO₂ネットゼロ”ムーブメント賛同
 (有)ラゴが京都サンガF.C.スポンサー活動開始
 (京存共栄パートナー(ACADEMY))
 マザーレイクゴールズ(MLGs)賛同
 2022年 事業強靱化計画認定 取得

受賞歴

1996年 (公社)全国産業廃棄物連合会
 地方優良事業所表彰 受賞
 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
 第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
 2014年 (公社)全国産業廃棄物連合会
 青年部協議会 CSR2プロジェクト
 コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞
 2022年 全国植樹祭にて、「企業の森づくり」感謝状 受賞

■キンカングループ決算情報

	単位	近畿環境保全(株)			(株)湖南リサイクルセンター			(有)ラゴ			キンカンビジネスアソシエイツ(株)		
		45期 (2019.05~2020.04)	46期 (2020.05~2021.04)	47期 (2021.05~2022.04)	19期 (2019.03~2020.02)	20期 (2020.03~2021.02)	21期 (2021.03~2022.02)	16期 (2019.09~2020.08)	17期 (2020.09~2021.08)	18期 (2021.09~2022.08)	2期 (2019.06~2020.05)	3期 (2020.06~2021.05)	4期 (2021.06~2022.05)
売上高	千円	1,007,081	844,944	936,087	357,061	346,995	392,742	53,173	52,339	52,159	34,997	36,276	96,800
営業利益	千円	17,108	-12,040	-5,802	5,653	27,209	34,913	3,191	3,192	5,166	-1,518	-2,002	1,292
経営利益	千円	23,495	-9,402	28,297	5,343	26,949	33,632	3,802	3,758	5,445	-1,190	-780	1,559
当期純利益	千円	18,420	-11,899	24,400	3,749	21,032	26,429	2,790	2,827	4,083	-1,262	-852	1,487
寄付による 社会貢献活動	千円	200	250	400	0	0	0	0	0	0	0	0	174



【理念】

当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、お客様やステークホルダーの皆様へより良いサービスの提供を目指しています。それには、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当社では、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、キンカングループだからこその取り組みを行なっています。

【基本理念】

当社は、資源リサイクルと廃棄物の収集運搬及び中間処理を三本柱とし、適正に再資源化、処理を行い、循環型社会の構築に努めます。人と地球に「E-Communication Partner」というキーワードを基に、お互いがパートナーシップを築き、未来への可能性を広げて、私たちの地域社会や自然環境を愛する活動の実現と、自然との共生を目指します。

環境のK

環境を最優先に物事を運びます。

感動のK

感動がないと人は動きません。

改革のK

改革なくして発展はありません。

代表挨拶

KINKAN GROUP CEO 西村 忠浩

長引く新型コロナウイルスとの戦い、またロシア・ウクライナ問題に端を発する世界全体を巻き込む物価高やエネルギー問題、そして円安という日本を覆う悲壮感。令和という新しい時代に入ったのに、また世界は平和から遠ざかってしまったといっても過言ではない状況だと感じています。そのような激動の最中、2022年に私たちは創業60周年を迎えることとなりました。昭和の戦後復興から見事に復活した日本で、大量生産・大量消費型の社会を支えてきた昭和の時代。そこから環境問題やエネルギー問題に対応すべく駆け抜けてきた平成の時代。そして今まさに新たな時代の扉を開き、次世代への大きな一歩を踏み出すタイミングだと実感しています。そのためには全ての事業で脱炭素を掲げ、ゼロカーボン社会を目指して行かなければなりません。

そのような背景があり、私たちは今までのCSR報告書から、さらに未来思考な報告書にする必要があると考え、それをこの60周年という節目の年に「サステナビリティレポート」としてアップデートすることとしました。かなりハードなスケジュールの中で、関係各位にご協力を頂きながら、なんとか発刊することができました。ただ、これはレポート1年目という位置づけではなく、来年以降につなげて行くための「ゼロ」年目という位置づけだと考えています。ステークホルダーの皆様もそのような目線で読んでいただけると幸いです。

60周年を迎えた今、私たちは昭和の時代の「廃棄物処理業」から、平成の時代に「リサイクル業」に発展し、そして令和

の時代となった今、人も物も循環させることで持続可能な未来があると信じ、「循環創造企業」へと進化していくことを決めました。昨年に発表した「KINKAN GROUP グリーン経済宣言」の冒頭に掲げている「すべてのモノは必要とされている。すべてのヒトが必要とされている。」というメッセージが、現在の私たちを表現する一番ふさわしい考え方だと確信しました。これからも、性別や国籍、ハンディキャップなどの壁を取り払い、キンカングループでの仕事にはどんな人でも輝ける場所があり、また地域社会にあふれる物も、どこかで誰かが必要としており、製品としても、資源としても、まだまだ活用されるべきであると認識しています。

結びに、コロナ禍の中で始めた新しい「リユース事業部」もいよいよ新拠点が完成し、本格的に事業をスタートいたします。また創業して約20年近く経つ「(株)湖南リサイクルセンター」は、大幅な設備の入れ替えを行い、リニューアルオープンいたしました。グループ全体でシナジー効果を出し、処理をするなら少しでも多くの割合をリサイクルし、それを無駄なくエネルギーに活用し、また自分たちでエネルギーを生み出し、廃棄をする前にリユースすることで再び物に命を宿す、そんな循環型社会をこの湖国滋賀を中心に、近畿圏や日本全国に広げていけるよう、社員一丸となってこれからも邁進していく所存です。

私たちの事業活動が、母なる琵琶湖を守り、地域の皆様にも幸せをもたらすことをここにお約束し、挨拶に代えさせていただきます。

来賓祝辞

「創業60周年を迎えて」

草津市長

橋川 涉



この度、近畿環境保全株式会社様が創業60周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴社におかれましては、60年という長きにわたり、本市の廃棄物行政ならびに環境行政の推進に、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

廃棄物の処理は、生活環境の保全や市民の快適な暮らしを支えるために、なくてはならないものであり、創業以来、廃棄物の適正処理の推進に貢献いただいておりますことに対し、深く敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

さて、この60年を振り返りますと、貴社が創業された昭和37年以降、わが国は、経済の発展に伴い、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会を迎え、限りある資源の枯渇、最終処分場のひっ迫や不法投棄など、ごみにまつわる問題も顕在化してまいりました。それらに対応するため、国は、環境負荷の低減を目指した循環型社会への転換を図るべく、廃棄物処理法の改正、循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等を整備され、単に“燃やす・埋める”というごみ処理から、リサイクルを含む3Rの時代へと変化してまいりました。

本市においては、平成23年から現在の11種類分別を行い、平成30年には新たなクリーンセンターの供用を開始し、市内の一般廃棄物の安全かつ安定的な処理を継続するとともに、ごみの焼却に伴って生じる熱を利用して発電を行うなど、エネルギーの有効活用を図っております。

また、現在、世界的な環境問題である、地球温暖化に対して、様々な取組が強く求められており、本市では、令和3年12月に、市と市議会が共同で「草津市気候非常事態宣言」を行い、ゼロカーボンシティを表明いたしました。これは、地球温暖化による気候変動に対する危機意識を市民の皆様と共有することで、脱炭素社会の実現に向けた行動目標を示すためのものであります。さらに、令和4年3月には、“更なるごみの減量・リサイクルによる資源循環型社会の構築”を目指すべき将来像とする「第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を策定し、市民・事業者・行政が協働して、リデュースやリユースを中心とした各種施策を推進することとしております。今後も、市民生活がより良いものとなるよう、環境・廃棄物施策に全力で取り組んでまいり所存でございます。

貴社におかれましては、市と「愛する地球のために約束する協定」を締結いただき、社内におけるクールビズ・ウォームビズの推進や、太陽光パネルを設置し、地域の再生可能エネルギーづくりの一端を担っていただくなど、ゼロカーボンシティ実現に向けて貢献いただいております。これまでの成果と御経験を活かし、今後も積極的にお取り組みいただけますことを大いに期待しております。

結びに、貴社には、今度とも廃棄物行政ならびに環境行政に対する一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、この記念すべき節目を契機とされ、更なる飛躍を遂げられますことを祈念申し上げます。創業60周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

産業廃棄物 許可エリア・ 許可品目



当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理業の許可を幅広く取得しています。

現在、許可エリアの内、15府県において優良認定をいただいています。他の県においても許可更新の際に優良認定を申請していきます。

優良産業廃棄物処理業者として厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるようなサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。

産業廃棄物

【収集運搬許可エリア】



一般廃棄物収集運搬業

【収集運搬許可エリア】

- 滋賀県 近畿環境保全(株)
- 京都市 (有)ラゴ



産廃情報ネット「さんぱいくん」

当社の最新の許可情報についてはwebで随時公開しています！
<https://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/>



優

優良産廃処理業者認定制度とは

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を都道府県・政令都市が審査し認定する制度です。

優良許可基準

- 1 遵法性
- 2 事業の透明性
- 3 環境配慮の取り組み
- 4 電子マニフェスト
- 5 財務体質の健全性

※詳しくは環境省のHPでご確認ください。

優良認定を受けている府県

石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、岡山県、広島県、山口県、香川県



許可エリア【許可都道府県及び許可品目】 ※2022年11月現在

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	石綿含有産業廃棄物等	水銀含有ばいじん等	水銀使用製品産業廃棄物等	廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	特定有害廃アルカリ	特定有害廃アルカリ	感染性産業廃棄物	特定有害廃石綿等	廃PCB等(低濃度PCBに限る)	PCB汚染物(低濃度PCBに限る)
-----	----	----	----	-------	----------	-----	-----	------	--------	------	------	-----------	-----	------	------	------------	-----------	--------------	----	-------	----------	-----------	-----------	----------	----------	------------------	-------------------

<近畿環境保全(株) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可一覧>

石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…産業廃棄物収集運搬業許可取得 ◎…積み替え保管の許可もある品目

許可品目【処分業許可一覧】

優 <近畿環境保全(株) 資源循環センター 中間処理業>

破碎	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・陶磁器くず
----	--------------------------------

優 <近畿環境保全(株) 石部営業所 中間処理業>

選別	汚泥(有機汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
一般廃棄物処分業	食品不要物(野菜くず、パン類、麺類、弁当類、液体食品類)

優 <株湖南リサイクルセンター>

破碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類
圧縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、刈草、剪定木くず

収集運搬用車両

廃棄物に合わせた運搬方法を提案

廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと最適な車両を手配し、お客様のもとへ伺います。
お客様のニーズに幅広く対応できるよう車両のラインナップを充実させています。



コンテナ車

パッカー車

ウィング車

種類	2t・3t・4t・9t・10t
説明	荷台がコンテナになっていて、そのまま降ろして設置できます。用途に合わせたサイズのコンテナを運搬いたします。重量のある汚泥などを運ぶ増トン車もあります。



種類	3t・4t・9t
説明	重量が軽く、圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。主に一般廃棄物の回収で使う車両で、計量器や分別回収用BOXが付いている車両もあります。



種類	4t・15t
説明	リフトで廃棄物を積み込みます。段積みが可能のため、積み合わせに適しています。




平ボディ車

ユニック付平ボディ車



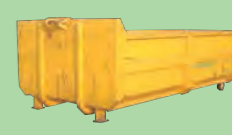






冷凍冷蔵車

種類	9t
説明	小さいコンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。

種類	4t
説明	ユニックで吊り上げて積み込むため、リフトがなくても積み込み可能です。

種類	3t
説明	最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。

回収容器一覧 コンテナを使用した定期回収、スポット回収お問合せください！

	<p>24^m コンテナ</p> 	<p>8^m コンテナ</p> 	<p>6^m コンテナ</p> 
外寸 (m) 長さ×幅×高さ	2.5×6.1×2.1	3.9×2.1×1.4	3.9×2.1×1.1
容量	24 ^m	8 ^m	6 ^m
	<p>4^m コンテナ</p> 	<p>2^m コンテナ</p> 	<p>1.5^m コンテナ</p> 
外寸 (m) 長さ×幅×高さ	2.8×1.7×1.16	1.6×1.5×1.2	1.9×1.0×1.0
容量	4 ^m	2 ^m	1.5 ^m
	<p>フレコンバッグ</p> 	<p>エコ回収ボックス</p> 	<p>グリストラップ容器</p> 
外寸 (m) 長さ×幅×高さ	1.0×1.0×1.0	0.35×0.52×0.35	0.3×0.2×0.36
容量	1 ^m	60ℓ	20ℓ



アルミバン

軽トラック/ハイエース/軽バン

ダンプ車

種類	2t・3t
説明	小口の産業廃棄物の回収等で使用しています。パワーゲート付の車両もあるので、かご台車の積み込みも可能です。

種類	—
説明	小口の産業廃棄物の回収等で使用しています。道路の狭い住宅地などでも小回りの利く回収ができます。

種類	10t
説明	中間処理後の廃棄物を、遠方にある最終処分先に運ぶための車両です。一度に大量の廃棄物が運べます。

創業60周年を 迎えて

昭和37年に、先代の故・西村裕司が「西村商店」として、個人事業からはじめたこの仕事が、昭和50年には法人となり、現在ではグループ4社、関連会社2社にまで成長し、2022年には創業60周年を迎えることとなりました。

60歳、人であれば還暦という人生におけるひとつの大きな節目を迎える年。私たちキンカングループも来るべき次世代に向けて、新たな決意とスタートを切る年になります。

2017年にSDGsに賛同し、55周年から5年間の事業活動を積み重ねてきました。その経験と今まで当社が学んだことを踏まえて、60周年以降の私たちの進むべき道の指針となる「グリーン経済宣言」を発表いたします。

私たちは廃棄物を扱う静脈産業だからこそ、全ての人と物に無駄なものはないと信じています。そして、サステナビリティとダイバーシティの2本の柱を掲げ、地域で必要とされる会社、地域経済を循環させていく事業を今後も意識して展開していくことをここに誓います。

SDGs・MLGsへの賛同

当グループは2017年からSDGsに賛同し、2021年にはSDGsの琵琶湖版と言われているMLGs(マザーレイクゴールズ)にも賛同しました。



Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から

近畿環境保全(株) 創業60周年プロジェクト

実行委員長 田中 良太

まずは、創業60周年という大きな節目に携われたことを嬉しく思います。プロジェクト実行委員長に拝命し、様々なプロジェクトに携わり、今年の6月には記念式典を執り行いました。平素よりお世話になっているステークホルダーの方々に迎え、日頃の感謝の気持ちや今後の方針も直接お伝えすることもできました。キンカングループとして100年企業に向けて、地域に必要とされる環境ソリューション企業としてより一層精進して取り組んでいきます。



創業60周年記念ロゴ



60年という一区切りを、感謝の気持ちと還暦というお祝いを赤いカラーとデザインで表現しました。

また55周年でも発表した100年企業に向けて、6本の線で左から右に向かって流れていくイメージも持たせています。

ビジョンロゴ



今後5年間の私たちの事業を進めるための指針となるロゴマークです。

緑は地域社会、青は母なるびわ湖、黄色は新しいエネルギー、赤は私たち人を情熱(パッション)として表現しています。

そしてキーワードは CONNECTING THE DOTs(点と点をつなぐ)です。

その時は必要かわからないことも、いずれ自分の人生で必要となること、また繋がることがあるという意味が込められています。

過去に経験したこと、起こった出来事がこれからのキンカングループの未来にどのように生きていくのか、それを繋いでいくのも、今の時代を生きる私たちの使命であり「人生に無駄はない」という考えのもとでこれからも点と点を繋いでいきます。

KINKAN GROUP グリーン経済宣言

すべてのモノは必要とされている。
すべてのヒトが必要とされている。

グリーン経済は「廃棄物」がない、すべてが資源として循環する経済です。

キンカングループは滋賀や周辺地域のグリーン経済を支える環境ソリューション企業として、資源の循環がスムーズに行われるよう、資源を必要としている人に確実に届けていきます。

そして、資源のつながり、人のつながり、社会のつながりをより強く、確実なものとして、持続可能な滋賀経済を支えます。

1. グリーン経済の要となって資源循環を回していきます。

- 世の中に不要なゴミなどない。すべてが資源として活用されるよう、循環させます。
- 既存の資源循環を担うだけでなく、これまで資源化できなかったものを資源化することに努めます。
- 必要な資源が必要な人の手に容易に渡るよう、ITを含め、先進技術を積極的に活用します。
- 古くからあった循環のしくみや知恵を掘り起こし、現代に活かします。
- 「廃棄物」からエネルギーを回収し、再生可能なエネルギーの供給にも取り組みます。

2. 地域の中で循環させます。

- 資源はもちろん、お金もできる限り地域の中で循環させます。
- 地域からの雇用を優先します。
- 地域にあるものは、地域から調達します。
- 資源循環を通じて、地域の困りごとを解消します。

3. 人を育て、人を生かします。

- 私たちは「すべての人は必要とされている」と考えています。誰もが、自分の特性や個性にあった働きがいのある仕事をできるよう、仕事の種類や働き方をカスタマイズします。
- ITを活用するなどして、人は自分の特性が生かせる仕事に専念できるようにします。
- 資源循環のプロフェッショナルを育て、社内のみならず、地域の課題解決を加速させます。
- 子どもたちが資源循環や環境について学ぶことを支援します。すべてのモノ、そしてすべてのヒトが必要とされていることを伝えます。

4. 美しく、自然の豊かな滋賀を取り戻し、作ります。

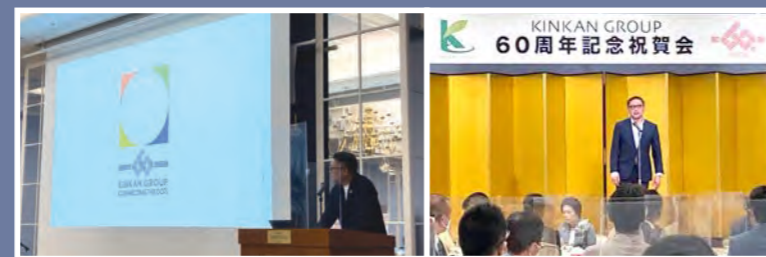
- ゴミのない、美しい街・美しい地域を作ります。
- 弱ってしまった自然資源の循環が、再びスムーズに進むようにするため、社内外の仲間と力を合わせます。

創業60周年を迎えて 私たちの挑戦



創業60周年記念祝賀会

キンカングループの社員と日頃からお世話になっているステークホルダーの皆さまを招待し祝賀会を開催しました。



湖南RC 石部小学校工場見学
創業60周年を記念し、地元密着型の工場として石部小学校の4年生約70名を迎えて工場見学を実施しました。



びわこペーロン2022

暮らしの中心である琵琶湖でのレクリエーションとして、「びわこペーロン2022」に出場しました。



ごみゼロ研究コンクール

小学生を対象にした循環型社会や、ごみについて考えるコンクールに協賛しました。



ウクライナへの支援活動

国連UNHCR協会を通じて国旗色ポーチを購入しました。購入金額はウクライナの子ども達を支援するために協力しました。



レイクス・スポーツファンド応援カレンダー

2022年の壁掛けカレンダーでは、レイクス・スポーツファンドの所属選手の皆様にご協力いただき、選手の皆様を応援するためにオリジナルカレンダーを作成しました。

KINKAN GROUPが60周年を機に挑戦する3つの項目

DXの推進

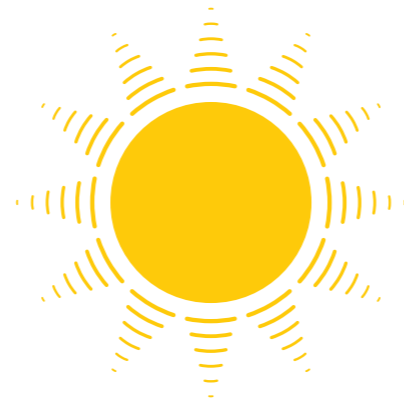
現在も当グループは多くのクラウドサービスを活用しながら業務にあたっています。今後は全ての部署・拠点で実行できるように準備していきます。

B-Corporation 認証取得への挑戦

新たな挑戦として、業界初のB-Corporation認証取得へ挑みます。アメリカの非営利団体ビーラボによる国際認証制度です。環境や社会に配慮した公益性の高い企業に与えられる認証です。

バイオガス発電事業

新しいパートナーと共に2024年度内に建設、2025年度試運転、稼働を目標に邁進してまいります。



サステナビリティの位置付け

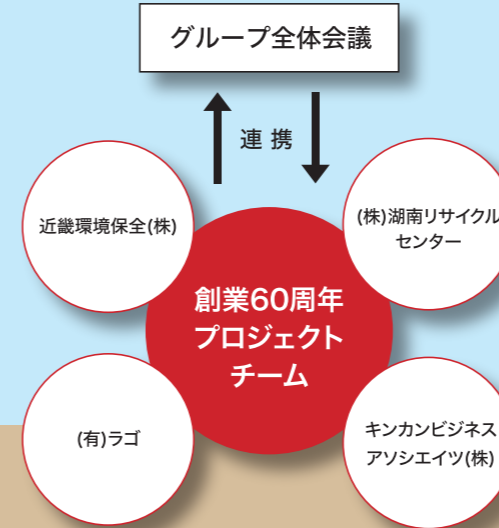
事業活動を通じて持続可能な社会を実現するために、キンカングループでは「脱炭素」「ダイバーシティ(社員)」「自然との共生」「地域社会との共生」「資源循環」「コンプライアンス遵守」この6つを戦略的優先課題(マテリアリティ)として設定しました。

これらの戦略的優先課題に取り組むことで当グループに関わる誰もが活躍し、社会から必要とされる企業になることを目指します。

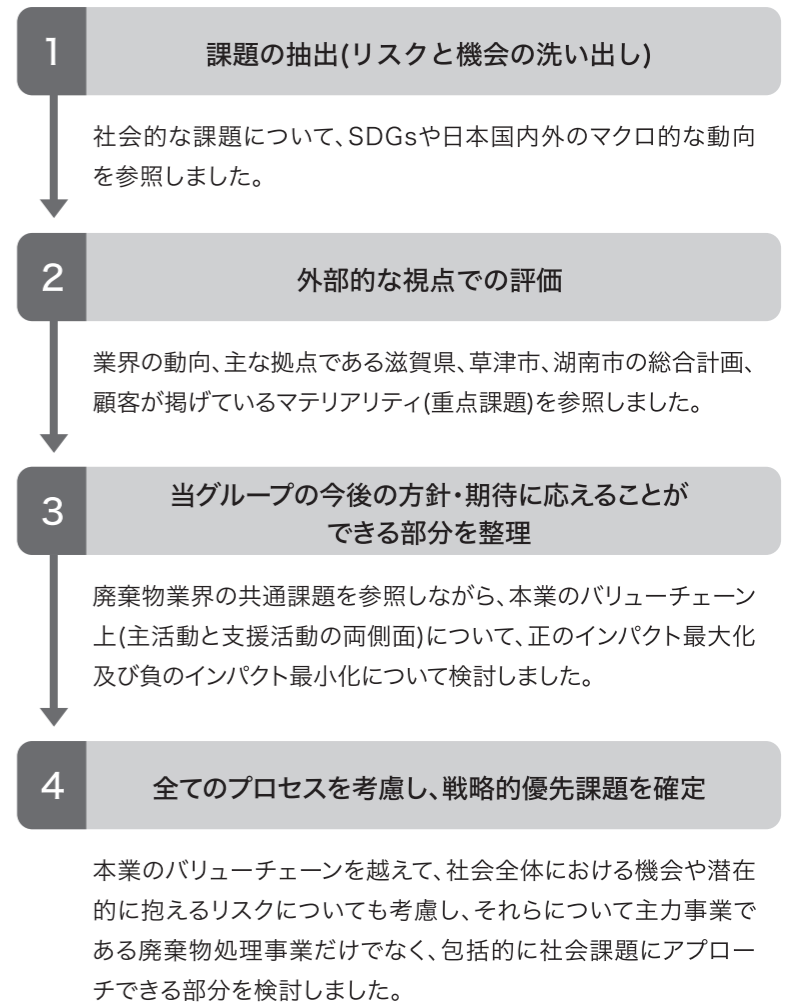


推進体制

今回は創業60周年プロジェクトを中心に推進体制を構築しました。各法人から数名が実行委員として参加し、グループ全体で連携をとりながらサステナビリティの推進を図っています。



戦略的優先課題(マテリアリティ)の決定プロセス



主活動(主に企業において価値を提供する部分)

SDGsへの貢献と戦略的優先課題(マテリアリティ)の関係

	脱炭素社会への挑戦	ダイバーシティへの挑戦	自然との共生	地域社会との共生	資源循環	コンプライアンス遵守
関連するSDGs	7, 13	3, 8	6, 14	4, 12, 17	9, 11, 12	11, 13
関連するMLGs	7		4, 5, 6, 11, 12, 13, 14	4, 9, 10, 13	4	1, 8

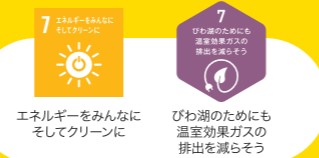
	共通項目	適正処理	リユース	リサイクル
正のインパクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域雇用の創出/雇用の多様性 ● ダイバーシティインクルージョン ● ワークライフバランス ● 社員の成長/公正な人事評価 ● 生態系保全 ● 持続可能な開発教育 ● スポーツ振興 ● グリーン購入 ● 社内デジタルシステムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 確実な収集運搬 ● 処理困難物の適正処理方法及び処理効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物の削減 ● 過剰な生産の抑制 ● 循環型社会の促進 ● 再使用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物からエネルギー回収 ● リサイクル率の向上 ● 再生利用
負のインパクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 二酸化炭素排出量の削減 ● 省エネルギー推進 ● コンプライアンス遵守 ● リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業中の事故防止 ● 交通事故の抑制 ● 保管物からの出火対応 ● 環境汚染の予防(水質) ● 騒音・振動・悪臭対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業中の事故防止 ● 最終処理先のモニタリング



MATERIALITY①

脱炭素社会への挑戦

再生可能エネルギー



当グループは2021年2月に「しがCO2ネットゼロ」ムーブメント」に賛同し、太陽光発電やBDFプロジェクトを継続することでCO2の排出抑制に寄与してきました。

今年は本格的にゼロカーボンへ挑戦するための0年度として、報告期間内のエネルギー使用量及びGHG(温室効果ガス)排出量を可視化することからはじめました。2050年のゼロカーボンを目指すために、どうすれば2030年に半減できるかを考えて目標を作成することから始めていきます。

太陽光発電

当社の駐車場施設に約12kwの太陽光パネルを設置しています。2021年度の発電量は11,617kWhでした。これは、およそ3.7tのCO2に換算することができます。



社内設置太陽光パネル

発電量 11,617kWh

CO2に換算すると 3.7t

2013年に私たちの施設がある湖南省でのプロジェクト「市民共同発電所式号機」に出資しました。2021年度の発電量は109,017kWhで、プロジェクト全体では34.3tのCO2に換算することができます。出資者として、地域の再生可能エネルギー事業に協力しながら、地域の活性化への支援になればと考えています。



市民共同発電所式号機

発電量 109,017kWh

CO2に換算すると 34.3t

BDFプロジェクト

2006年から廃植物油を回収してバイオディーゼル燃料に精製し、それを利用する「BDFプロジェクト」に参画しています。地域における循環型社会を目指し、油藤商事(株)にご協力いただき、地域のクリーンエネルギーとして利用しています。

BDFは二酸化炭素の排出を「カーボンニュートラル」として、排出量と吸収量を均衡させています。

2021年度は8,500Lの廃植物油を回収しました。これは、BDFとしてCO2換算すると22.26tに相当します。

地球温暖化防止に寄与するとともに、地域の循環型社会の構築に協力しています。



廃植物油

回収量 8,500L

CO2に換算すると 22.26t

エネルギー使用量

<燃料使用料>

開示項目	対象	重油	ガス	ガソリン	軽油
非再生可能エネルギー源に由来する総燃料消費量	KINKAN GROUP	8924.93 ℓ	22 m³	6,199 ℓ	313,327 ℓ
	近畿環境保全(株)	34 ℓ	22 m³	2,500 ℓ	261,026 ℓ
	(株)湖南リサイクルセンター	8890.93 ℓ	0 m³	940 ℓ	27,087 ℓ
	(有)ラゴ	0 ℓ	0 m³	2,759 ℓ	25,214 ℓ
再生可能エネルギー源に由来する総燃料消費量	KINKAN GROUP	0 ℓ	0 m³	0 ℓ	0 ℓ
エネルギー原単位(廃棄物処理量あたりのエネルギー使用量)	KINKAN GROUP	0.735 ℓ/t	0.00181 m³/t	0.510 ℓ/t	25.8 ℓ/t
エネルギー原単位(売上あたりのエネルギー使用量)	KINKAN GROUP	6.04 ℓ/百万円	0.0149 m³/百万円	4.20 ℓ/百万円	212 ℓ/百万円
エネルギー総消費量(発熱量ベース)	KINKAN GROUP	12,377 GJ			

※近畿環境保全(株)のエネルギー消費量はキンカンビジネスアソシエイツ(株)のエネルギー消費量を含んでいる。
 ※近畿環境保全(株)の電力使用量は有限会社ラゴの電力消費量を含んでいる。
 ※再生可能エネルギー源に由来する総燃料消費量については、KINKAN GROUP内の企業すべてゼロ。
 ※対象「KINKAN GROUP」と記載している項目の数値は、KINKAN GROUP4社合計の数値。
 ※売上は、KINKAN GROUP4社連結の金額である。尚、各社それぞれの決算の金額を採用している。
 ※GJ=ギガジュール
 ※ジュールの換算典拠:環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」

<電力使用料>

開示項目	対象	電力
電力消費量	KINKAN GROUP	282,045 kWh
	近畿環境保全(株)	103,240 kWh
	(株)湖南リサイクルセンター	178,805 kWh
	(有)ラゴ	0 kWh
販売した電力	KINKAN GROUP	11,641 kWh
エネルギー原単位(廃棄物処理量あたりの電力使用量)	KINKAN GROUP	23.2 kWh/t
エネルギー原単位(売上あたりの電力使用量)	KINKAN GROUP	191 kWh/円

二酸化炭素排出量

開示事項	対象	総量
GHG Scope1総量(①+②)+GHG Scope2(ロケーション基準)総量	KINKAN GROUP	984 t-CO2
GHG Scope1総量(①+②)+GHG Scope2(マーケット基準)総量	KINKAN GROUP	969 t-CO2
①購入した燃料の燃焼に伴うGHG排出量	KINKAN GROUP	847 t-CO2
	内訳	
	近畿環境保全(株)	679 t-CO2
(株)湖南リサイクルセンター	96 t-CO2	
(有)ラゴ	71 t-CO2	
②非エネルギー起源GHG排出量	KINKAN GROUP	0 t-CO2

開示事項	対象	ロケーション基準		マーケット基準	
		GHG Scope2総量	CO2原単位排出量(廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量) GHG Scope2	GHG Scope2総量	CO2原単位排出量(売上あたりの二酸化炭素排出量) GHG Scope2
GHG Scope2総量	KINKAN GROUP	137 t-CO2	0.0810 t-CO2/t	122 t-CO2	0.0798 t-CO2/t
	内訳				
	近畿環境保全(株)	50 t-CO2		45 t-CO2	
	(株)湖南リサイクルセンター	87 t-CO2		77 t-CO2	
(有)ラゴ	0 t-CO2		0 t-CO2		
CO2原単位排出量(廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量) GHG Scope2	KINKAN GROUP	0.0810 t-CO2/t	0.0798 t-CO2/t		
CO2原単位排出量(売上あたりの二酸化炭素排出量) GHG Scope2	KINKAN GROUP	0.666 t-CO2/百万円	0.656 t-CO2/百万円		

※GHG(温室効果ガス)プロトコルを使用して算定。
 ※算定範囲は、KINKAN GROUP内のScope1及びScope2の二酸化炭素排出量とする。
 ※対象「KINKAN GROUP」と記載している項目の数値は、KINKAN GROUP4社合計の数値。
 ※近畿環境保全(株)のGHG排出量(Scope2)は、(有)ラゴのGHG排出量(Scope2)を含んでいる。
 ※近畿環境保全(株)のGHG排出量はキンカンビジネスアソシエイツ(株)のGHG排出量を含んでいる。
 ※KINKAN GROUP内の企業は、いずれも非エネルギー起源の二酸化炭素排出量は0t-CO2。
 ※ロケーション基準及びマーケット基準の数値は切り上げ。
 ※原単位排出量は、全体のみ算出とする。
 ※売上は、KINKAN GROUP4社連結の金額である。尚、各社それぞれの決算の金額を採用している。
 ※排出係数の典拠:環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」



MATERIALITY②

ダイバーシティへの挑戦

すべてのヒトが必要とされている



3 すべての人に健康と福祉を



8 働きがいも経済成長も

当グループは、社員教育に力を入れることで社員の成長の機会を増やすと同時に、育児休業制度を整えることで安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。社員それぞれが家庭やプライベートな時間を大切にしながら活躍できる職場を目指しています。

成長できる職場づくり

当グループを支える社員一人ひとりのスキルアップがお客様へのより良いサービスに繋がると考え、社員教育に力を入れています。社員それぞれが持っている能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる環境を目指しています。

社内・社外研修の活用

社内研修では、業務に必要な不可欠なことを中心に学んでいます。グループ全体で研修を行うことで、サービスの品質向上を目指しています。

社内研修実績(オンライン含む)

参加年月日 2021.05~2022.04	参加人数	内容
2021年4月~6月	4名	新入社員研修(廃掃法講座、ISO研修、SDGsカードゲーム、現場研修)
2021年8月(2回)	8名	ハラスメント対策社内セミナー
2021年11月(2回)	12名	セクシュアル・マイノリティについて
2021年度(24回)	4名	企業ブランディング研修
2021年度 随時	3名	エコリング新人研修(初級鑑定士研修)

社外研修も積極的に活用しています。

業務内容や役職に合ったプログラムに参加することで、更なるスキルアップに繋がっています。

社外研修実績(オンライン含む)

参加年月日 2021.05~2022.04	参加人数	内容
2021年5月	2名	第58回ESJセールス研修会(オンライン) ~新型コロナウイルスが資源循環に与えた影響、それから~ 【主催者】エコスタッフ・ジャパン(株)
2021年7月	1名	マザーレイクゴールズ(MLGs)研修会 【主催者】(公社)滋賀県環境保全協会
2021年8月	2名	第59回ESJ労働安全衛生研修会 【主催者】エコスタッフ・ジャパン(株)
2021年10月	2名	一般廃棄物従事者研修(京都) 【主催者】京都市 環境政策局 循環型社会推進部 廃棄物指導課
2021年11月	2名	ESJドライバー研修会 【主催者】エコスタッフ・ジャパン(株)(全国セルフドライバー協会)
2021年11月	1名	第3回MLGs月イチおしゃべり会 ~教えてコスモさん!地域版SDGsってどうですか?~ 【主催者】(特非)碧いびわ湖
2021年12月	2名	電子帳簿保存法 【主催者】アイネックス税理士法人
2022年2月	2名	しが森林サービス産業創出セミナー ~健康づくり・交流・関係人口 森林空間活用の可能性を考える~ 【主催者】滋賀県琵琶湖環境部 森林政策課
2022年2月	1名	第61回ESJ廃掃法研修会(オンライン) ~フラスコに備える~ 【主催者】エコスタッフ・ジャパン(株)
2022年2月	2名	改正電子帳簿保存法のポイントとその対策について 【主催者】車津商工会議所
2022年2月	1名	リーダーシップとマネジメント 【主催者】(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構
2022年3月	1名	人事交流会(離職の原因とその要因、OJT) 【主催者】(株)ラーニングエージェンシー

資格取得の支援

当グループは資格支援制度を設けています。この制度は、業務に必要な資格を取得する費用を会社が負担する制度です。今年度は延べ10名の社員が制度を利用して資格を取得しました。

資格取得実績

取得年月日 2021.05~2022.04	取得者数	取得資格名
2021年6月~10月	2名	破砕リサイクル施設技術管理士
2021年10月	1名	相談支援専門員
2021年11月~12月	5名	廃棄物管理士
2022年1月	1名	大型自動車免許
2022年4月	1名	ESJ優良ドライバー認定 ブロンズクラス

近畿環境保全(株) 環境事業部 物流グループ 山元 一也

自身のスキルアップをはかる為、資格取得支援制度を利用して大型免許をとりました。運転技術が向上して仕事の幅も広まり、より会社に貢献できるようになりました。

今後もこの制度を活かしてさまざまな免許や資格を取得し、会社と社会に貢献できるように頑張っています。



近畿環境保全(株) 営業部 営業二課 大槻 美歩

資格取得支援制度を利用して廃棄物管理士の資格を取得しました。事前に上司から1ヶ月かけてテキストを用いて教えていただき、理解度チェックテストも行っていただいたので、万全な対策をした上で試験に臨むことができました。廃掃法を網羅でき、廃棄物に関する基礎知識が身につくため、入社して立ち前の研修期間に取得させていただけのもありがたかったです。

今後も業務に関わる様々な資格取得に挑戦していきたいと思っています。



人事評価制度

当グループでは人事評価クラウドシステムを導入しています。

この評価制度では会社からの数値目標だけではなく、社員それぞれが自ら設定した行動目標の達成を目指します。評価基準を明確にして目標達成度を数値化することで客観的な評価を行い、給与や賞与、昇進を決定しています。

自ら行動目標を設定することにより自覚と責任感が生まれ、職場環境の改善と顧客サービスの充実OR向上、売上、利益の増加の指標になります。

安心できる職場づくり

当グループは社員一人ひとりに支えられて成り立っています。その社員たちが安心して長く働ける環境にしたいと考えています。社員それぞれが安心して働くことができ、家庭やプライベートな時間を大切にしながら活躍できる職場を目指しています。

育児休業

当グループは仕事と家庭の調和を大切にすることを「基本行動原則」に掲げ、育児をしながら仕事をする社員を応援しています。

育児休業を利用できるようにし、仕事と家庭を両立しやすい職場づくりに努めています。

育児休業取得実績

3回取得▶1名 2回取得▶2名

※2010年5月からの実績です。

近畿環境保全(株) 営業部 販売管理グループ 八太 亜希子

私は入社してからこれまでに3度の育児休業を取得させていただきました。

今では3人共小学生になりましたが、当時は振り返ると家族をはじめ多くのスタッフの方々の協力を得られて支えられてきたからこそ今日までこれたのだと思います。

日々不安もありましたが休業中は育児に専念でき、この制度のおかげで復帰後も仕事と家庭を両立し、毎日充実した日々が送れていることに感謝しています。



労働災害の防止及び労災保険への加入

当グループは廃棄物処理のための重機や施設を保有しており、社員の事故やケガ等のリスクも多く存在しています。労働災害が起こらない職場を目指していますが、万が一の事態に備えて労働災害保険制度を整えています。

今年度の労働災害は1件でした。小さな怪我ではありましたが療養補償を給付し、原因追求と対策の実施も行いました。

社員とその家族の生活を守るため、今後も安全で働きやすい職場づくりに注力しています。

労働災害の年間件数

前年度(2020年度)▶0件 今年度(2021年度)▶1件

【労災の種類】療養補償給付1名



MATERIALITY②

ダイバーシティへの挑戦

雇用の多様性



働きがいも
経済成長も

誰もが活躍できるキンカングループ

当グループはダイバーシティの実現を目指しています。そのためには国籍、性別、障がいの有無などはもちろんのこと、一人ひとりの「違い」を認め合うことが大切だと考えています。誰もが自分の持つ能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる職場づくりを目指しています。

シニア社員の活躍

当グループは60歳を定年としていますが、本人の希望があれば再雇用を行なっています。
再雇用の年齢の上限は設けず、本人の希望と健康状態に配慮して業務内容や勤務時間、出勤日数を調整しています。
現在、60歳の方から75歳の方まで活躍しています。また、業務内容も工場での作業やトラックドライバー、営業など多岐にわたっています。



近畿環境保全(株)
谷口 好伸

世間でいう60歳定年の年齢は過ぎましたが、元気に毎日働いています。
老若男女問わず、また国籍問わず多種多様な方々と一緒に働けてとても充実した日々を過ごしております。若者にはまだまだ負けられない！とは言切れない年齢ですが、身体が元気なうちは皆さんと一緒に働いていきたいです。

外国人社員の活躍

当グループには多数の外国人社員が正社員として所属し、主に(株)湖南リサイクルセンターで活躍しています。
業務マニュアルは社員の母国語に翻訳し、社員全員で業務手順や事故防止対策を共有しています。様々な国籍の社員が協力しながら作業を行なっています。



(株)湖南リサイクルセンター
ペレイラ ユウジ

今は(株)湖南リサイクルセンターで、搬入された廃棄物の選別等に携わっています。重たい廃棄物を選別する時や、夏の暑い日の作業は苦勞も感じますが、みんなと一緒に楽しく働いています。
新しい設備が導入されて作業内容が変わったので、上司の指示をよく聞きながら頑張って選別しています。
私は6歳から日本に住んでいますが、遠くへの旅行や海に行ったことがありません。なので、日本の食べ物や場所をもっと知りたいです。目標は家族旅行で沖縄へ行くことです。

障がいを持つ社員の活躍

当グループは2011年より就労支援団体と連携し、障がいを持つ方々が安心して働ける安全な職場を提供しています。2018年からはキンカンビジネスアソシエイツ(株)を設立し、障がい者雇用を行なっています。
主な職場は資源循環センターです。5名のキンカンビジネスアソシエイツ(株)の社員が活躍しています。また、しあわせ作業所の皆さまには週2回ほどお越しいただいています。毎回約5名の方と仕事を共にしています。



キンカンビジネスアソシエイツ(株)
石山 悠介

自閉スペクトラム症の障がい特性により人間関係に不安を抱えていましたが、周囲が配慮してくれる環境にあるため、働きやすい環境だと実感しています。
また、軽作業が多いので、作業中は人と関わることも比較的少なく、落ち着いて作業ができます。わからないこともすぐに聞くことができる体制にあるので安心して働けます。今までは考えることもなかった車の免許やフォークリフトの免許などにも挑戦していきながら、今後は自分ができないと思っていたことにも挑戦していきたいです。



しあわせ作業所
担当支援員 西村 浩昌 さん

以前までは炎天下での作業が多く、利用者の中でもなかなか就労に出たがる人が少なかったのですが、選別用ベルトコンベアの導入という環境整備により、キンカンへの就労に出たいという利用者の向上心にも繋がりました。
今までできないだろうと思っていたことができるようになった実感も持てるようになったため、とても感謝しています。
今後はキンカンの業務に興味を持っている利用者さんの就職や、キンカンで訓練した利用者が他の企業などへの就職に繋がっていくのではないかと期待しています。





MATERIALITY③
自然との共生
びわ湖とともに生きる

当グループは滋賀県で活動する地域密着型の企業として、地域と共に発展したいと考えています。その考えのもと、滋賀県のシンボルであり人々の生活を支えている「びわ湖」を守ることをテーマにCSR活動を続けています。

また、2021年2月には「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメント」に賛同し、2021年6月11日にはびわ湖版SDGsといわれている「MLGs」への賛同を宣言しました。これからも滋賀県に根ざした活動を通して持続可能な社会の実現を目指していきます。

残念ながら今年度は新型コロナウイルスの影響で例年通りの活動ができない一年となりました。これまでの活動を見つめ直し、新しい活動の形を模索していきます。

びわ湖を美しくする運動



海の豊かさを守る



水辺も湖底も美しく

毎年7月1日に行われる「びわ湖を美しくする運動」に参加し、びわ湖周辺の清掃活動を行なっています。河川からびわ湖へ流れ着いたり、レジャーの際に放置されたごみが散乱している状況がまだまだ続いています。それらのごみを拾うことでマイクロプラスチックの減少やびわ湖の生態系を整えることにも繋がっています。



浜辺や草むらの隠れた所も丁寧に
ごみ拾い!

(2021年7月1日 5名参加)



ヨシ刈り



安全な水とトイレを世界中に



水辺も湖底も美しく



森林と海のつながりを健全に



水とつながる折りと暮らしを次世代に

2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとしてヨシ刈りに参加しています。

冬に枯れてしまったヨシを刈り取ることで、ヨシの水質浄化機能の向上とヨシの有効利用に協力しています。

刈り取ったヨシはノートの原料や、当社の名刺の原料に使用されています。今年度は感染症対策のため地元住民の方のみの参加となりました。



ヨシ刈りで
キレイで安全な
水を守る!



びわ湖森林づくりパートナー協定



安全な水とトイレを世界中に



恵み豊かな水源の森を守る



びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう



つながりあって目標を達成しよう

2009年より三雲生産森林組合の皆さまと「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、びわ湖の水源である森林保全活動を行っています。当社は森林整備にかかる費用と労働力を提供し、一緒に整備活動を行なっています。

下草刈りなどの整備をすることで森林のCO₂吸収機能も向上し、地球温暖化防止の効果も向上します。協定による森林整備の内容は滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書を受領しています。

今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から協定による整備活動を中止しました。

パートナー交流会

自然環境を守り続けるためには自然環境の大切さを社会全体で共有し、環境への関心を高める必要があります。そのためには自然を守る活動だけでなく、自然を活かす活動も必要だと私たちは考えました。

そこで、三雲生産森林組合の皆さまとの交流会を企画しました。この交流会は従来の森林整備活動と合わせて自然と触れ合える様々なイベントを企画し、森林整備活動そのものをイベント化するという試みでした。

イベントを通して自然の中で楽しい時間を過ごしていただくことで自然について考えたり、自然を守りたいと思うきっかけを作りたいと考えています。

森で見つけた
葉っぱや木の実に
炭づくり体験!



定期的な草刈りで
豊かな森を守る!



自分たちで育てた
しいたけを収穫!

- 2019年3月9日 第一回交流会
バーベキュー、しいたけの植菌体験、森林整備
- 2019年10月26日 第二回交流会
バーベキュー、燻製体験、しいたけの原木の本伏せ、森林探索と炭づくり体験、森林整備
- 2021年3月23日 しいたけ収穫
新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。収穫したしいたけは交流会参加者に配布しました。
- 2022年3月28日 しいたけ収穫
新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。収穫したしいたけは交流会参加者を中心にスタッフに配布しました。

三雲生産森林組合 組合長 井上 利和 様

「森林づくりパートナー企業」として近畿環境保全(株)の社員の皆様に、森林の下草刈り作業にご参加いただきました。ありがとうございました。

森林を元気にすることは、CO₂の吸収効率を高め、地球温暖化防止や御社が支援されているSDGsの達成に繋がります。これからも、「豊かな森と安全な水」を守る取り組みを、一緒にしていただけたらと思います。よろしくお願いたします。



MATERIALITY④

地域社会との共生

地域を支える活動



12 つくる責任
つかう責任

つくる責任
つかう責任



17 パートナリプで
目標を達成しよう

パートナーシップで
目標を達成しよう



6 水とトイレを
豊かにしよう

水辺も湖底も
美しく



11 つながりあって
目標を達成しよう

つながりあって
目標を達成しよう

循環型社会を目指すための情報発信

情報発信のため、自社セミナーの実施や環境イベントへの出展を行なっています。今年度は新型コロナウイルス流行による社会情勢やニーズの変化に対応し、webで活動しました。

情報発信
1

環境イベントへの出展 WEBセミナーの実施

例年様々な環境に関するビジネスを行う企業の展示イベントへ出展していますが、今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、多くのイベントが中止となりました。昨今の社会情勢を踏まえ、当社ではオンラインセミナーに注力し、様々なwebセミナーを企画しました。

2021年6月よりPCB廃棄物対策セミナーも随時開催しています。PCB廃棄物を含め、廃棄物の適正処理推進のために各回少人数制で開催し、参加者の皆さまの疑問にお答えします。

情報発信
2

動画での情報発信

廃棄物の適正処理に繋げるために、動画での情報発信もはじめました。

サービスの利用方法や廃棄物の分別に関する内容について、言葉だけでは伝わりにくい部分も動画であれば可視化してお客様にご確認いただけます。



地元スポーツチームのスポンサー活動

地域密着型の企業として「スポーツを通して地域を盛り上げたい」という思いから、地元のプロスポーツチームのスポンサー活動に参画しています。

滋賀レイクスターズ

2010年より
スポンサー活動を
開始しました。



レイクス・スポーツファンド

応援カレンダーの作成

レイクス・スポーツファンド応援のために、選手の皆さまを掲載した応援カレンダーを作成しました。

レイクス・スポーツファンドの選手の皆さまの活躍を広く知っていただくため、年末年始のご挨拶と一緒にお客様を中心に配布しました。



滋賀GOブラックス

2018年より
スポンサー活動を
開始しました。



京都サンガF.C.

2021年5月より
(有)ラゴが
京存共栄パートナー
(ACADEMY)
になりました。



近畿環境保全(株) 営業部 営業二課 田代 杏奈

当社では情報発信ができる様々な機会を設けています。取引先に向けてセミナーを実施したり、協会からのご依頼を引き受け、県内企業様に向けて講演を行なっております。

昨今の新型コロナウイルス拡大の影響を受け、対面で開催する機会は減りましたが、webセミナーを利用したオンラインでの情報発信を始め、非常にご好評をいただいております。今後リモートの機会を増やし、ステークホルダーの皆様へ情報発信できる場を設けていきたいと思っております。



(株)滋賀レイクスターズ 代表取締役社長 釜淵 俊彦 様

滋賀レイクスは滋賀県で初のプロスポーツクラブとして創設され、国内男子プロバスケットボールの最高峰である「B.LEAGUE」に参戦しているチームです。

滋賀の自然や環境保全に取り組む当社とパートナーシップを締結することで、地域の学校訪問や琵琶湖の清掃活動といったSDGsの取り組みを実践し、スポーツを通じた滋賀県の活性化に貢献しています。「日本一となることを通じて滋賀の誇りとなる」ことをミッションに掲げ、同社のサポートを大きな力に変えて奮闘しています。



MATERIALITY④

地域社会との共生

次世代につないでいく教育



質の高い教育をみんなに



つくる責任 つかう責任



水辺も湖底も美しく



生業・産業に地域の資源を活かそう



地元も流域も学びの場に

持続可能な社会を実現するためには未来の世代に健全な地球環境や資源を残すだけでなく、環境保全の重要性を後世に伝えていく必要があります。そこで、まずは子どもたちにとって身近な課題であるゴミの分別や、リサイクルについて学べる環境学習を実施しています。

「地域社会に根ざす廃棄物処理業者」である当社ならではの体験型学習を通して、子どもたちが環境に興味を持つきっかけや理解を深める学習の場を提供したいと考えています。また、今年度からはキャリア学習の観点から小学校や中学生に向けて「環境に関わるお仕事」を紹介する活動にも取り組みました。



お仕事ノート、お仕事ブックへの協賛

小・中学生向け キャリア学習冊子への協賛

小学生及び中学生が自身のキャリアや将来の仕事を考える材料になるように、キャリア学習冊子への協賛を実施しています。子どもたちが地元の仕事について調べたり、自身の将来像を考えるための冊子です。

2021年度は甲賀市・湖南市の教育委員会が後援している小学生中学年向け冊子「お仕事ノート 甲賀・湖南版」及び、滋賀県教育委員会が後援している中学生向け冊子「お仕事ブック 滋賀県版」の2種類の作成に協力しました。

お仕事ノートは2021年9月、お仕事ブックは2022年2月に発行され、地域の小学校及び中学校へ配布されています。



出張授業

小学校や養護学校に赴き、環境学習の授業を行なっています。

過去11年間で10校の小学校・養護学校へ訪問し、合計20回の出張授業を実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。



これまでに多くの小学校・養護学校へ訪問しました!



工場見学

環境学習を目的とした(株)湖南リサイクルセンターの工場見学にも対応しています。

今年度は甲西高等学校の生徒の皆さまがお越しになりました。

甲西高等学校の皆さまから御礼状をいただきました!



インターンシップの実施

2022年2月8日及び2月9日に冬季webインターンシップを開催しました。

「地域密着型企業とSDGs」をテーマにセミナーやワークショップ、グループディスカッションを実施し、2日間で合計8名の学生が参加しました。

今後も学生の皆さまが社会に出るにあたり、自分に合ったよりよい将来を選択できるよう、社会の仕組みについて学べる機会を提供したいと考えています。



大津市立青山中学校 教諭 本郷 ひとみ 先生

キャリア教育の一環として、お仕事ブックに掲載された業種をカテゴリー別に分類し、調べ学習や発表会を行いました。その後「職業講話」を実施し、仕事の内容ややりがい、選択したきっかけなどについて講話いただきました。

本やインターネットで調べただけでなく、実際に働く人の話を聞いたことは生徒の大きな学びとなりました。職業に対するイメージの変化や、ゴミの減量化など日常生活で自分のできる取り組みを実践したいという思いをもつ機会となりました。ありがとうございました。

※職業講話は2022年10月に実施。本誌の報告対象期間外のため、詳細は次年度のレポートにて掲載予定。



近畿環境保全(株) 採用チーム 廣岡 千紘

インターンシップは昨年度に引き続き、webで開催しました。SDGsの指針をいち早く取り入れている当社のSDGs達成に向けた事例を紹介しました。

SDGsはどこか遠い存在で自分とは関係ないと思いがちですが、カードゲームを用いることで身近に感じていただくことができたのではないかと感じています。当社の選考を受ける受けないに関わらず、今後自分が身を置く環境について考えるきっかけになれば幸いです。



環境報告:ISO14001目的・目標



11 住み続けられるまちづくりを



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

当グループはISO14001の環境マネジメントシステムに取り組んでいます。当グループが社会や自然に与えている影響を明確にし、悪い影響を及ぼす問題やより良い取り組みに対して自ら目標を立てて解決していく仕組みを作っています。

KINKANポイント制度

【目標】全構成員でKINKANポイント
13,800ポイント以上獲得

全体結果 **19,115ポイント獲得**



【部門別結果】

近畿環境保全(株) 本社及び草津資源循環センター	4,885ポイント
近畿環境保全(株) 管理本部	4,505ポイント
近畿環境保全(株) 営業本部	1,460ポイント
近畿環境保全(株) 石部営業所	2,597ポイント
近畿環境保全(株) 京都営業所	0ポイント
(株)湖南リサイクルセンター	5,668ポイント

社員全員で資源物回収運動を行いました。

当社独自の環境ポイント制度は、全社員を対象に20年間行なっている取り組みです。社員の各家庭から排出される缶・ペットボトル・新聞・段ボール等の古紙を会社へ持参することでポイントを付与する運動です。

最も積極的に参加した社員20名を表彰するなど、士気を高める工夫もしています。

2019年度より制度を見直し、社員の環境に係る活動を支援していくために、社会貢献や環境学習、環境活動もポイント付与の対象となりました。(※2021年12月終了)

KINKANよくするプロジェクト

【目標】業務改善提案 484件

結果 **業務改善提案 64件**

【部門別結果】

近畿環境保全(株) 本社及び草津資源循環センター	1件
近畿環境保全(株) 管理本部	1件
近畿環境保全(株) 営業本部	32件
近畿環境保全(株) 石部営業所	18件
近畿環境保全(株) 京都営業所	11件
(株)湖南リサイクルセンター	1件

「KINKAN良くするプロジェクト」にて、より良い職場づくりを行なっています。

働く環境、交通や情報など、社内外の課題を社員自らが発見し、改善に取り組むことで働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

社員一人ひとりが会社の課題を意識することが大切だと考え、人事評価制度の目標の一つに業務改善提案の件数を設定しました。しかし、後半は人事評価制度の目標から外れたこともあり、目標数値には届きませんでした。

ICTの活用による社内の合理化

【目標】ICTの活用を行い社内の
合理化を検討する

実績 (全拠点対象)

- 事務所間伝票のやり取りをWEB化
- 社内サーバーのクラウド化
- 会議用TV、マイク、カメラを各拠点に設置



社内インフラとしてICTの導入および活用を進めています。

昨年度同様、これまで紙で運用してきた業務を電子化することでペーパーレスを進め、環境負荷軽減に繋がっています。

また、ICTを活用して業務を効率化することにより、サービス品質の向上や働きやすい職場づくりに繋がっています。

最終処分場・最中間処理先の開拓

【目標】最終処分場、再中間処理先の開拓
3年間で契約先2件追加

結果 ● 加山興業(株)、英建工業(株)など
(株)湖南リサイクルセンターのみ



安定的な処分先の確保に取り組んでいます。

2021年度はRPFへのリサイクルを行なっている処理施設や管理型埋立処分を行うための中間処理施設など、様々な処分先を追加することができました。

(株)湖南リサイクルセンターの新しい最終処分場や二次処理先を確保することは、安定的な廃棄物処理に繋がります。お客様へ安心・安全な廃棄物処理を提供するための取り組みです。

新規車両の購入

【目標】エコ車両への買い替え
3年間で新型車3台追加

結果 ● 6台購入 1台廃車
(近畿環境保全(株) 石部営業所)



環境負荷を減らすため、低公害車の導入を推進しています。

廃棄物業界では遠方の最終処分先へ廃棄物を運搬することにより環境に負荷がかかってしまうことが懸念されています。当社にとっても例外ではなく、運搬コスト削減のための新型車両の導入が必須となっています。また、産業廃棄物収集運搬業の優良認定制度に対する「低排出ガス及び低燃費車の導入」の公表事項においても必須条件として取り組んでいます。

今年は小口回収や営業にも使えて小回りが利く軽バンやハイエースなどの車両を増車しました。

近畿環境保全(株) コンプライアンス室 室長 永戸 浩一

従事する仕事や作業の進め方が働く場所によって異なることから、部門別の取り組みを進める転換点となった年だと思っています。

目標は概ね良好な結果でしたが、組織の状況の理解や内部・外部の課題として取り上げた「KINKAN良くするプロジェクト」において、前半はどんな些細なものでも取り上げ、尚且つ人事管理の目標にも設定してきました。しかし、後半は出尽くした感と人事目標から外れたこともあり、ISOの目標としては芳しくない結果となってしまいました。

今では各会議体や委員会が機能し、活発な議論の上、業務が改善され、スムーズに仕事が進んでいるように見受けられます。廃棄物処理業の収集運搬にあたっては、低濃度PCBの許可を取得したことで大きな営業戦略となり得るでしょう。



MATERIALITY⑤

環境報告:再資源化率



住み続けられるまちづくりを



つくる責任 つかう責任



水辺も湖底も美しく

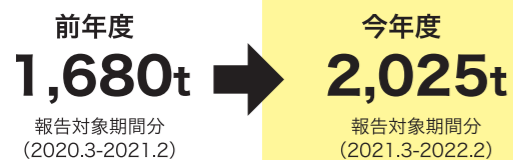
当グループは廃棄物の再資源化やリサイクルを行い、循環型社会の実現を目指しています。また、事務用品等の購入の際は、環境に配慮された商品を選んでいきます。今年度の実績を調査し、昨年度の実績と比較することで、当グループの取り組みについて客観的に分析しました。

産業廃棄物の再資源化率

再資源化率



セメント・RPF向け処理実績



2019年にパーゼル条約改正により国際的に汚れた廃プラの輸出が規制されてから国内での廃棄物需要が高まりました。従来からの廃棄物処理業者にとって厳しい環境の下、新型コロナウイルスの蔓延により経済活動が鈍化し、取扱量も減少傾向にありました。しかし、コロナ禍の影響もひと段落し、取扱量や選別した有価物、各種再資源化施設に向けた排出量も増加しました。



再生原料となる廃棄物を、主に資源循環センターで取り扱っています。

段ボールや缶、ビン、ペットボトル、発泡スチロールをリサイクルしています。今年度は昨年度よりリサイクル量が9.6t減少しました。2021年6月からはペットボトルのボトルtoボトルリサイクルへの取り組みを開始し、ペットボトルのリサイクル量は昨年より増加しました。

再生原料となる廃棄物のリサイクル

リサイクル量

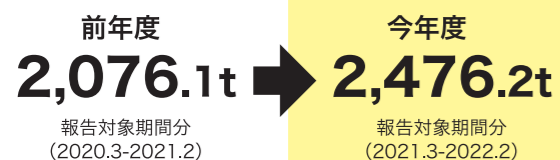


【内訳】

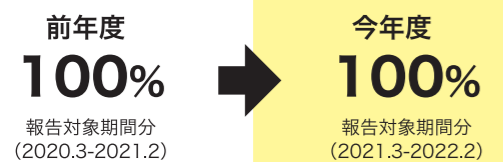
段ボール (Pダンボール、P段ボール、ダンボール、段ボール)	→	
.....1348.8t	→1346.4t
古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌)	→	
.....364.3t	→391.4t
缶 (アルミ、CP、缶)	→	
.....166.9t	→104.6t
瓶 (その他色ビン、茶色ビン、白色ビン、白ビン)	→	
.....92.5t	→88.1t
ペットボトル (PET)	→	
.....154.8t	→164.3t
発泡スチロール (PS、PS-インゴット)	→	
.....5t	→12.4t
キャップ (エコキャップ)	→	
.....0.5t	→0.5t
金属 (鉄、被覆線)	→	
.....28.8t	→44.5t

木くずの再資源化

再資源化量



再資源化率

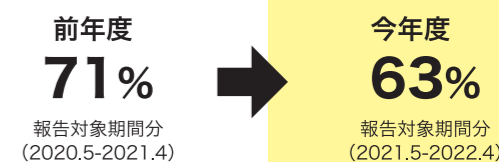


木くずの再生施設の認定を受ける為、搬入される木くずの90%をリサイクルに繋げることが目標です。実績としては、搬入された木くず全てを再資源化量に繋げることができました。新型コロナウイルス流行の影響が和らいだのか、廃棄物全体の受け入れ量が増加したことにより、再資源化量も増加しました。



グリーン購入

グリーン購入率



事務用品等を購入する際、可能な限り環境配慮型商品を選択しています。2009年からグリーン購入ネットワークに参加し、この試みを始めてからしばらくは80%以上を維持していました。しかし、昨年度から事務用品全体の購入量が例年より大幅に少なかったため、環境配慮型商品でないものの購入1点1点が例年よりも大きく数値に影響しているのではないかと考えています。次年度以降、数値を回復させるための対策を検討します。



MATERIALITY®

コンプライアンスへの取り組み



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



1 清らかさを感ずる水に



8 気候変動や自然災害に強い暮らしに

工場見学・処分地視察

工場見学

お客様自身の目で処理地をご確認いただけます。当グループの施設だけでなく、最終処分地、協力業者への視察も調整します。

処分地の確認

処理が適正か
厳しくチェック!



現地に赴いて視察を行い、処理の適正さと信頼性の確認が得られた最終処分地のみをお客様にご提案しています。

水害対策

大雨や洪水などを未然に防ぐ

(株)湖南リサイクルセンターは河川に近く、土地も低いため、水害の恐れのある地域です。そのため、水害対策を行い、大雨や洪水の際のリスク削減に努めています。

事務所内のフロアの嵩上げ、設備の防壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐよう周知活動にも取り組んでいます。



事業継続力強化計画認定の取得

2022年4月には近畿環境保全(株)と(株)湖南リサイクルセンターにおいて事業強靱化計画認定を取得致しました。事業継続力強化計画認定制度とは、今後、防災・減災に向けて取り組む企業に対し、その計画を認定する制度です。お客様へ安心・安全な廃棄物処理サービスを提供することももちろん、万が一自然災害が発生した場合でも早期の復旧とサービス提供の実現に向けて尽力して参ります。

火災対策

安心・安全な職場・工場づくり

当グループにとって最大の危険は火災です。仕事や作業の危険性を把握して未然に防止し、危険性を削減する対策を行なっています。

緊急事態の対策手順を策定し、社員全員が手順通りに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行なっています。

また、火災の原因となる物(ライター、発煙灯等)が廃棄物に混入しないよう、お客様へ搬入禁止物の周知を図っています。



グループ管理本部火災訓練の様子(2021年6月18日実施)



(株)湖南リサイクルセンター火災訓練の様子(2021年9月24日実施)

日頃の訓練が大切!

事故防止対策

安全委員会や安全パトロールの実施

事故防止のために、毎月1回安全委員会を開催しています。工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定しています。さらに、週1回各現場で安全パトロールを行い、危険箇所や改善箇所を確認しています。

また、勉強会を各部署で月1回、社内全体で年2回行い、危険予知(KY)活動やリスクアセスメントについて学んでいます。



(株)湖南リサイクルセンター

主任 河村 昂介

事故、怪我のない安全な物流、工場を目指し、スタッフが随時ヒヤリハットを報告しています。それを元にリスクアセスメントを行い、危険箇所の改善案を話し合います。そして実際に場内に白線を引いたり、路面を補修したりと改善を実施し安全に業務が出来るようになってきています。さらにこの取り組みを通してスタッフ一人一人の安全意識が高まっているのを感じ、とてもいい成果だと思っています。

安心・安全への取り組み

各拠点の環境調査

■近畿環境保全(株) 本社及び草津資源循環センター

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	65dB	70dB	12
調査結果 (場所/No.1)	64dB	46dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	60dB	38dB	10未満
評価	○	○	○

水質レベル		
計量対象項目	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度	7.0	JIS K0102 12.1
生物化学的酸素要求量	16mg/L	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量	8.6mg/L	JIS K0102 17
浮遊物質(SS)	8.3mg/L	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	0.5mg/L未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	56個/cm ³	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	1.0mg/L	JIS K0102 45.2
燐含有量	0.1mg/L	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	20.1℃	JIS K0102 7.2

■近畿環境保全(株) 石部営業所

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	70dB	14
調査結果 (場所/No.1)	55dB	42dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	54dB	38dB	10未満
評価	○	○	○

■近畿環境保全(株) 京都営業所

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	65dB	10
調査結果 (場所/No.1)	49dB	30dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	58dB	32dB	10未満
評価	○	○	○

■(株)湖南リサイクルセンター

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	70dB	敷地境界線14
調査結果 (場所/No.1)	57dB	41dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	50dB	44dB	10未満
調査結果 (場所/No.3)	53dB	39dB	
評価	○	○	○

水質レベル		
計量対象項目	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度	7.1	JIS K0102 12.1
生物化学的酸素要求量	3mg/L	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量	3.5mg/L	JIS K0102 17
浮遊物質(SS)	5.0mg/L	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	0.5mg/L未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	6個/cm ³	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	0.9mg/L	JIS K0102 45.2
燐含有量	0.1mg/L未満	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	25.1℃	JIS K0102 7.2

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている4ヶ所にて廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。

さらに、当社は特定施設にはなりませんが、水質汚濁防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。2021年度の調査が5月10日に行われ、基準値を超えずにクリアできました。

また、法律と条例を遵守しているかどうか、毎年2月に確認しています。2021年度の確認は2022年3月31日に行い、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。

遵守法令

【法律・条例 一覧】

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 資源有効利用促進法(各種リサイクル法)
- 騒音規制法
- 振動規制法
- 悪臭防止法
- 水質汚濁防止法
- 電気事業法
- 建設業法
- フロン排出抑制法
- 消防法
- 浄化槽法
- 道路交通法
- 道路運送車両法
- NOx・PM法
- 高圧ガス保安法
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 労働安全衛生法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 同和対策特別処置法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 男女雇用機会均等法
- 暴力団等排除条例
- 湖南市環境基本条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 公害防止協定-青地町自治会

以上、全て遵守!

外部専門家からのメッセージ

株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役
サステナブルブランド・プロデューサー

足立 直樹氏

【プロフィール】東京大学理学部、同大学院で生態学を専攻、博士（理学）。国立環境研究所、マレーシア森林研究所に勤務した後独立し、持続可能なサプライチェーンの構築や企業価値を高めるサステナブル経営戦略とブランディングを企業に指導。一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）理事・事務局長、サステナブル・ブランド ジャパン サステナビリティ・プロデューサー、日本野鳥の会 顧問などを兼務。国連生物多様条約の非公式アドバイザリーグループや省庁の委員も多く務める。滋賀県では、滋賀経済同友会の「琵琶湖いきものイニシアティブ宣言」（2009）や「人と自然が交わる滋賀・グリーン経済宣言」（2021）の策定を指導している。代表著書に『生物多様性経営：持続可能な資源戦略』等がある。



キンカングループが本年創業60周年を迎えられたことに、まずは心からお祝い申し上げます。創業60年は人であれば還暦で、そこからまた新しいサイクルが始まるわけですが、その節目の年に、これから先を見据えた「KINKAN GROUPグリーン経済宣言」を策定したこと、そこに示された事業に対する決意は、とても素晴らしいものです。特に「すべてのモノは必要とされている。すべてのヒトが必要とされている。」は、これからのキンカンの方向性を端的に、そして力強く示しており、本当に良いメッセージだと感じました。60周年の誓いに述べられた事業の二本柱であるサステナビリティとダイバーシティーにもしっかり符合しています。

レポートのタイトルも、環境レポートからサステナビリティレポートへと変更になりました。けれどもこれは、サステナビリティ（持続可能性）という言葉が一般的になったからというわけではないでしょう。むしろキンカンが挑戦していく課題が、環境から人を含めた地域社会、そして経済へと広がってきたことを示すタイトル変更だと私は受け止めました。キンカンは既に、自分たちは廃棄物回収会社ではなく、資源循環を支える会社であると標榜し、事業活動の幅も広がってきましたが、人を育てて生かすことや、多様な人と共生することを重視する会社であることを今回のタイトル変更が示しているのだと思います。

そうした活動が既に始まっており、それが今後さらに広がっていくであろうことは、本レポートから十分に予見できます。一方で、グリーン経済宣言の内容を確実に

実行するために、またその課題により大きな貢献をするために、二つ提言をしたいと思います。

まず一つは、今後キンカングループが達成しようとする目標、そしてその結果として実現される世界像（ビジョン）を明確に示すことです。そうすれば、キンカンが長期的にどこにたどり着こうとしているかが、社内外の方々に明確に伝わります。またその長期的な目標と現状のギャップも分かるので、何をすべきかもより明確になるでしょう。次に、着実にその目標に向かって近づいていることを確認できるよう、進捗度合いを定量的に測定できるKPI（重要業績評価指標）をいくつか設定することもお勧めしたいと思います。そのことで、どこまで進んだかが、そして道のりがどれだけ残っているかが、正確にわかるようになるからです。

現在私たちはますます多くの、そして深刻な、環境と社会、そして経済の問題に直面しています。資源循環も人的資本を増やすことも、間違いなくその大きなチャレンジですが、グリーン経済宣言をしたキンカングループにとっては、当然挑戦すべき課題です。そして、同時に大きな市場やリターンを得るチャンスでもあるのです。

今年のレポートでは還暦の60周年のキンカンが、これからさらに大きく発展するスタートを高らかに宣言しました。来年以降はその成果が問われるようになります。ぜひこの勢いで様々な試みを続け、地域の資源循環や人的資源の蓄積、そして地域経済の発展をリードしていただきたいと思います。